

# 令和5年度 出資団体評価シート

## 1 基本情報

団体名	札幌丘珠空港ビル(株)	所管課	政) 空港担当課
基本財産	498,000千円	記入者	担当 武岡 電話 211-2357
設立年月日	平成2年(1990年)5月23日	本市出資額	130,000千円 (出資割合 26.1%)
設立・出資目的	札幌丘珠空港ターミナルビルは、道内航空網の拠点として重要な機能を有する施設であるとともに、本市の空の玄関としての公共的な性格を有する施設であり、航空事業者の安定した運航を確保するとともに、航空利用者が安心して安定的に利用できる状態を保つよう、本市と連携して取組を進めるため出資している。	出資年月日	平成2年(1990年)5月15日
代表者	代表取締役社長(非常勤) 吉岡 亨(副市長)	沿革	平成2年 札幌丘珠空港ビル(株)設立 平成4年 現旅客ターミナルビル供用開始
主な出資者	① 札幌市 (26.1%) ② ANAホールディングス(株) (25.1%) ③ 北海道 (13.1%) ④ (株)日本政策投資銀行 (13.1%) ⑤ 札幌商工会議所 (8.7%) ⑥ (株)北洋銀行 (5.0%)		
団体所在地	〒007-0880 札幌市東区丘珠町 丘珠空港内 電話 785-7871		

## 2 実施事業 (詳細については事業評価シート参照)

(1) [No.] [主要事業名] (該当ページ)	
[設立・出資目的と当該事業との具体的な関連性]	
① 札幌丘珠空港ターミナルビルの管理運営 (6ページ)	② 空港ターミナルビルバリアフリー化事業 (7ページ)
航空事業者の安定的な運航を確保し、航空利用者が安心して安定的に利用できるよう、ターミナルビルの管理運営を行う。	高齢者、障害者等の異動等の円滑化を促進するためにバリアフリー化設備の整備を実施し、丘珠空港及びそのターミナルビルの利便性を向上させ、機能維持を図る。
③	④
⑤	⑥
⑦	⑧
(2) 総支出に占める事業支出割合 92.5% (主要事業支出合計 185,072千円 ÷ 総支出 200,068千円)	
(3) 主要事業の有効性 (出資・設立目的に対して事業効果は、十分出ているか)	
評価	<input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
理由	令和4年度は利用者数が13年ぶりに30万人を越え、コロナ禍以前の旅客数となったが、設立、出資目的を鑑み、新たな需要の創出に向けた取組を行う必要がある。
(4) 主要事業の質・量 (出資・設立目的の達成のために、必要十分な事業が実施されているか)	
評価	<input type="checkbox"/> 実施されている <input checked="" type="checkbox"/> 一部見直す必要がある <input type="checkbox"/> 実施されていない
理由	同社の事業により航空事業者の安定的な運航が確保され、航空利用者の安定的な利用が保たれているが、増便によりさらなる利用者数の増加に伴い、搭乗待合の狭隘や保安検査レーンの混雑などの課題があることから、航空機の安定的な運航や利用者の利便性向上のためにも、見直しの必要がある。

## 3 団体職員・構成員等

令和5年4月1日現在(単位:人)

役員	本市OB	本市派遣	プロパー	その他	総数	プロパー職員の年齢構成			役員の任期	
	常勤取締役	1	0	0	0					
	常勤監査役	0	0	0	0		20歳代	0	50歳代	1
	非常勤取締役			9			30歳代	0	60歳代	0
	非常勤監査役			2			平均年齢 50.0 歳			代表権のある役員 の就任年月
職員					9	取締役	R5.6		職員総数の推移(人)	
常勤管理職	0	0	1	0		監査役	—			
常勤一般職	0	0	1	1		R03.4.1時点		9		
非常勤職員			6			R04.4.1時点		9		

#### 4 財政状況

※数字は団体決算ベース（金額単位：千円）

区分		R3年度決算	R4年度決算	(前年比)	
財務状況	経常収入内訳				
	経常収入 (a+f)	171,413	202,213	(100.0%) (+30,800)	
	損益計算書	営業	売上高 (a)	165,810	200,068 (+34,258)
			営業費用 (b)	168,784	185,060 (+16,276)
			うち販売費・一般管理費 (c)	107,590	106,927 (52.9%) (▲ 663)
			うち人件費 (d)	34,939	36,357 (18.0%) (+1,418)
			営業利益 (e)	▲ 2,974	15,008 (+17,982)
	営業外	営業外収益 (f)	5,603	2,145 (▲ 3,458)	
	当期純利益 (g)	1,471	11,176 (+9,705)		
	貸借対照表	資産 (h)	817,089	812,016 (▲ 5,073)	
		流動資産 (i)	309,806	335,655 (+25,849)	
		固定資産 (j)	507,283	476,361 (▲ 30,922)	
		負債 (k)	88,384	72,136 (▲ 16,248)	
		流動負債 (l)	53,793	39,040 (▲ 14,753)	
固定負債 (m)		34,591	33,096 (▲ 1,495)		
純資産 (n)		728,705	739,881 (+11,176)		
資本金 (o)		498,000	498,000 (0)		
借入金残高 (p)	0	0 (0)			

#### R4年度決算の概要

区分	当期収入の増減、収支の状況、資産・負債の大幅な変動の要因等
(a)	令和4年度は航空需要が回復し13年ぶりに30万人をこえたところであり、それに伴う売店売上等が増加に加え、新型コロナウイルスの影響により減免していた入居者の家賃等の見直しにより、対前年度比20.7%増となった。
(b)(e)	航空機の運航時間延長に伴う開館時間の延長、乗降客数の増加、エネルギー価格の高騰等の影響により、水道光熱水費が増加したが、経費節減に努めた結果、営業費用が対前年度比0.5%増加で抑えられ、3年ぶりに営業利益が黒字となった。
(f)(g)	札幌市からの補助金等の営業外収益が発生しなかったため、令和3年度に比べ営業外収益は減少しているが、純利益は対前年度比759.8%増の黒字となった。

※詳細は、別添の貸借対照表、損益計算書を参照。

#### 5 本市の財政的関与

※数字は札幌市決算ベース（金額単位：千円）

区分	R3年度決算	R4年度決算	(前年比)
市補助金・交付金・負担金	4,540	0	(▲ 4,540)
市委託料	3,630	4,015	(+385)
市業務委託料	3,630	4,015	(+385)
うち随意契約	3,630	4,015	(+385)
市指定管理費	0	0	(0)
うち非公募	0	0	(0)
(参考) 再委託額	284	284	(0)
うち市業務委託分	284	284	(0)
再委託率	(7.8%)	(7.1%)	(▲ 0.8%)
市貸付金	0	0	(0)
市貸付金残高			(0)
損失補償等限度額			(0)
損失補償契約等に係る債務残高			(0)
(参考) 市施設利用料金収入			(0)
うち非公募			(0)

## 6 財務指標に基づく評価

(金額単位：千円)

項目		R3年度	R4年度	(前年比)	評価基準	備考
(1)健全性	剰余金(n-o)	230,705	241,881	(+11,176)	前年比較増	正味財産-基本財産
	自己資本比率(n÷h)	89.2%	91.1%	(+1.9%)	≥50%	正味財産÷資産
	流動比率(i÷l)	575.9%	859.8%	(+283.8%)	≥150%	流動資産÷流動負債
	固定比率(j÷n)	69.6%	64.4%	(▲5.2%)	≤100%	固定資産÷正味財産
	借入金依存度(p÷h)	0.0%	0.0%	(0.0%)	前年比較減	借入金残高÷資産
(2)生産性	職員一人当り経常収益	19,046千円	22,468千円	(+3,422千円)	前年比較増	経常収益÷職員総数
	人件費率(経常収益比)(d÷a)	21.1%	18.2%	(▲2.9%)	前年比較減	人件費÷経常収益
	職員一人当り管理費	11,954千円	11,881千円	(▲74千円)	前年比較減	管理費等÷職員総数
	管理費率(経常収益比)(c÷a)	64.9%	53.4%	(▲11.4%)	前年比較減	管理費等÷経常収益
(3)自立性	市依存度(収入)	0.0%	0.0%	(0.0%)	前年比較減	市収入(注1)÷経常収益
	市財政的関与割合(収入)	4.8%	2.0%	(▲2.8%)	前年比較減	市収入(注2)÷経常収益
健全性の評価		<input type="checkbox"/> 非常に高い <input checked="" type="checkbox"/> 高い <input type="checkbox"/> 概ね健全 <input type="checkbox"/> やや低い <input type="checkbox"/> 低い				
理由	<p>「(1)健全性」の側面では、いずれの指標においても評価基準を大きく上回っており、非常に高い健全性を有すると判断される。また、「(2)生産性」及び「(3)自立性」の側面においても、旅客数の回復等による収入増に伴い、いずれの指標においても前年度より好転している。</p> <p>一方で、エネルギー価格の高騰等に対応していくためにも、家賃基準の抜本的な見直し等により、生産性・自立性の向上を図り、さらなる経営の安定化が必要であることから、評価は「高い」とする。</p>					

(注1)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料(随意契約分)+市指定管理費(非公募分)+市施設利用料金収入(非公募分)

(注2)市収入=市補助金・交付金・負担金+市業務委託料+市指定管理費+市施設利用料金収入

## 7 「札幌市出資団体の在り方に関する基本方針」に基づく具体的な行動計画の評価

ここでは、具体的な行動計画(※1)で示した取組目標について、年度ごとの指標(※2)の達成状況とその評価を行う。

※1詳細については具体的な行動計画(別冊子)を参照

※2指標の実績値は各年度末時点のもの

### (1) 出資・出捐

○取組目標		現状値	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名	(R2年度)				
○現行出資比率の維持						
①	出資比率	目標		26.10%	26.10%	26.10%
		実績	26.10%	26.10%	26.10%	
		評価		達成	達成	
②		目標				
		実績				
		評価				
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						

### (2) 人的関与

○取組目標		現状値	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名	(R2年度)				
○現行人的関与の維持						
①	市派遣職員数	目標		0	0	0
		実績	0	0	0	
		評価		達成	達成	
②	市職員の役員への就任数	目標		2	2	2
		実績	2	2	2	
		評価		達成	達成	
未達成理由と今後の対応(直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する)						

### (3) 団体の活用

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○丘珠空港の利用促進						
①	路線数	目標		8路線	8路線	8路線
		実績	7路線	8路線	8路線	
		評価		達成	達成	
②	旅客数	目標		190千人	228千人	267千人
		実績	163千人	199千人	320千人	
		評価		達成	達成	
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						

### (4) 更なる経営の安定化

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○自主事業の拡大による団体の自立性の向上						
①	販売店の売上高	目標		31,950千円	39,820千円	47,680千円
		実績	25,628千円	34,551千円	57,585千円	
		評価		達成	達成	
②	広告収入	目標		3,220千円	3,340千円	3,460千円
		実績	3,683千円	3,232千円	3,289千円	
		評価		達成	未達成	
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						
新型コロナウイルス感染症の影響により、広告の撤退や、値引きした広告クライアントが回復せず、目標未達成となった。今後、広告代理店との協力のもと新規クライアントの開拓などに努めるよう指導する。						

### (5) 団体統制

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○若手社員の採用						
①	プロパー職員数	目標		2人	3人	3人
		実績	2人	2人	2人	
		評価		達成	未達成	
②		目標				
		実績				
		評価				
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						
新型コロナウイルス感染症の影響により経営の安定化が見込まれていなかったため、人員の増員を見送っていたところであるが、将来的な年齢バランスや事業の承継等を考慮し、R5年度に1名に加えR6年度にはさらに1名を増員する予定である。今後、賃料等の見直しを検討するなど、経営の安定化に向けて適宜協議していく。						

### (6) 札幌市の施策との連動

○取組目標		現状値 (R2年度)	R3年度	R4年度	R5年度	備考
No.	指標名					
○地元企業・団体の活動支援、障がいのある方の自立支援						
①	地元企業・団体（東区）が製造・出荷する商品の取引額	目標		1,480千円	1,540千円	1,670千円
		実績	1,269千円	1,366千円	2,991千円	
		評価		未達成	達成	
②	障害者就労施設からの物品調達や業務委託件数	目標		3件	3件	3件
		実績	1件	4件	2件	
		評価		達成	未達成	
未達成理由と今後の対応（直近年度の目標が未達成の場合のみ記載する）						
新型コロナウイルスの影響によりイベント等を実施することができなかつたため、これまで委託していたクリーニング業務の依頼回数が少なく未達成となっている。今後、簡易的な物品の調達等についても積極的に利用するよう、指導していく。						

## 8 情報公開等の状況

ホームページ公開情報				
ホームページアドレス	<a href="https://www.okadama-airport.co.jp/">https://www.okadama-airport.co.jp/</a>			
Eメールアドレス	<a href="mailto:info@okadama-airport.co.jp">info@okadama-airport.co.jp</a>			
【経営状況等】				
<input checked="" type="checkbox"/> 定款	<input checked="" type="checkbox"/> 役員名簿	<input type="checkbox"/> 団体機構図	<input type="checkbox"/> 事業計画書	<input type="checkbox"/> 予算書
<input checked="" type="checkbox"/> 事業報告書	<input checked="" type="checkbox"/> 決算書	<input type="checkbox"/> 中長期的な経営計画		
【事業情報等】				
<input checked="" type="checkbox"/> 実施事業（イベント）情報	<input checked="" type="checkbox"/> 管理施設情報			
<input type="checkbox"/> その他（				）
ホームページ以外の情報媒体				
広報誌・冊子の発行：	なし			

※特記ない限り、本評価シート情報は令和5年7月1日現在のものです。

# 事業評価 ( 1 ) 札幌丘珠空港ターミナルビルの管理運営

1. 事業概要	事業所管課： まちづくり政策局空港活用推進室空港担当課	担当： 武岡	電話： 011-211-2357
(1)事業内容	①空港ビル利用施設の賃貸、貸室業 ②広告宣伝業 ③航空知識の普及及び教育事業並びに空港利用の促進事業 ④物販業		市委託料(随意契約) 4,015
(2)事業目的	航空事業者の安定的な運航を確保し、航空利用者が安心して安定的に利用できるよう、ターミナルビルの管理運営を行う。		
(3)事業開始	平成2年度(1990年度)		

## 2. 実施結果

(1)事業収支(単位:千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入(経常収益比)		167,713 ( 97.8% )	202,213 ( 100.0% )	(+34,500)
市補助金・交付金・負担金		428	0	(▲428)	
市業務委託料		3,300	3,650	(+350)	
市指定管理費		0	0	(0)	
市施設利用料金収入		0	0	(0)	
自主事業収入(補助金除く)		162,510	196,418	(+33,908)	
その他収入		1,475	2,145	(+670)	
費用(支出)		165,094	185,072	(+19,978)	
事業費		26,255	41,776	(+15,521)	
管理費等		138,839	143,296	(+4,457)	
収支差		2,619	17,141	(+14,522)	
収支比率		101.59%	109.26%	(+7.68%)	
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	イベント実施回数	3回	3回	3回	3回
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	丘珠空港利用旅客数	199,600人	222,000人	320,000人	503,000人
②	イベント来場者数	5,596人	6,000人	8,144人	13,200人
③	団体見学者数	30人	140人	779人	1,000人
④					
⑤					
⑥					

## 3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	令和4年度は利用者数が13年ぶりに30万人を越え、コロナ禍以前の旅客数を上回る事となったところではあるが、今年度春より大都市である名古屋(小牧)との路線が開設されたこと、また、秋からは中標津路線の開設も予定されていることから、さらなる利用促進策に取り組み、新たな需要の創出に向けた取組を行う必要がある。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input type="checkbox"/> 良好 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	新型コロナウイルスの影響により一部減免していた家賃等の見直しや、航空需要の回復に伴う売店売り上げの増加等により黒字となっているが、エネルギー価格の高騰等に対応するためにも、賃料や光熱水費の抜本的な見直し等により、さらなる経営の安定化を目指す必要がある。

## 事業評価 ( 2 ) 空港ターミナルビルバリアフリー化事業

1. 事業概要	事業所管課： まちづくり政策局空港活用推進室空港担当課	担当： 武岡	電話： 211-2357
(1)事業内容	空港ビル改修事業 PBB設置修正検討業務 本市による丘珠空港の機能強化等の検討により将来的に想定される旅客ターミナルビルの拡張に配慮し、令和2年度に実施した業務の修正検討を行った。  ※当該事業費について 令和2年度はPBBの設置検討に係る基本設計として実施し、仮受金及び建設仮勘定に計上。令和3年度は、上記のとおり修正検討として実施し、委託費及び雑収入として計上。令和4年度は実施なし。  【市の関連事業名】 丘珠空港利用促進事業		
(2)事業目的	高齢者、障害者等の異動等の円滑化を促進するためにバリアフリー化設備の整備を実施し、丘珠空港及びそのターミナルビルの利便性を向上させ、機能維持を図る		
(3)事業開始	令和元年（2019年）9月		

### 2. 実施結果

(1)事業収支 (単位 千円)	項目	R3年度	R4年度	(前年比)	
	収入 (経常収益比)		3,700 ( 2.2 % )	0 ( 0.0 % )	(▲ 3,700)
事業 収支 (単 位 千 円)	市補助金・交付金・負担金	3,700	0	(▲ 3,700)	
	市業務委託料	0	0	(0)	
	市指定管理費	0	0	(0)	
	市施設利用料金収入	0	0	(0)	
	自主事業収入(補助金除く)	0	0	(0)	
	その他収入	0	0	(0)	
	費用(支出)	3,700	0	(▲ 3,700)	
	事業費	3,700	0	(▲ 3,700)	
	管理費等	0	0	(0)	
	収支差	0	0	(0)	
収支比率	100.00%	#DIV/0!	#DIV/0!		
(2)活動指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①	バリアフリー工事の実施	—	—	—	—
②					
③					
④					
⑤					
⑥					
(3)成果指標		R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	R5年度目標
①					
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

### 3. 所管局による評価

(1)事業の実施結果の有効性	事業目的に対して事業の効果は <input type="checkbox"/> 十分出ている <input checked="" type="checkbox"/> 高める余地あり <input type="checkbox"/> 出していない
	高齢者、障がい者等の異動等の円滑かつの促進や航空利用者全体の利便性向上のため、この業務の成果に基づいて、さらなる機能向上に向けた取組を行う必要がある。
(2)収支状況	当該事業の収支状況は <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 見直しの余地あり <input type="checkbox"/> 要改善
	R3年度は本市の施策に基づき補助事業として実施したところであり、収支が均衡している。 ※R4年度は事業実績なし。

# 貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位 円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
<b>流動資産</b>	<b>335,655,272</b>	<b>流動負債</b>	<b>39,039,713</b>
現金及び預金	324,071,692	未払金	10,282,325
商品	3,645,928	未払法人税等	4,470,600
未収入金	7,820,240	未払消費税	3,779,700
前払金	117,412	前受金	8,938,767
		仮受金	9,790,000
		預り金	284,500
		賞与引当金	1,493,821
<b>固定資産</b>	<b>476,361,378</b>	<b>固定負債</b>	<b>33,095,784</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>473,310,763</b>	預り敷金・保証金	9,056,000
建物	414,172,690	退職給付引当金	24,039,784
建物付属設備	43,353,215		
工具器具備品	5,994,858		
建設仮勘定	9,790,000		
		<b>負債合計</b>	<b>72,135,497</b>
<b>無形固定資産</b>	<b>2,745,915</b>	<b>純資産の部</b>	
電話加入権	218,400	<b>株主資本</b>	<b>739,881,153</b>
ソフトウェア	2,527,515	資本金	498,000,000
<b>投資等</b>	<b>304,700</b>	利益剰余金	241,881,153
保険積立金	3,200	利益準備金	15,000,000
保証金	301,500	その他利益剰余金	226,881,153
		別途積立金	100,000,000
		建設積立金	35,000,000
		繰越利益剰余金	91,881,153
		<b>純資産合計</b>	<b>739,881,153</b>
<b>資産合計</b>	<b>812,016,650</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>812,016,650</b>



# 損 益 計 算 書

自 令 和 4 年 4 月 1 日

至 令 和 5 年 3 月 3 1 日

(単位 円)

科 目	金 額	金 額
売 上 高 賃 貸 収 入 附 帯 事 業 収 入 商 品 売 上	133,588,605 8,894,754 57,585,080	200,068,439
売 上 原 価 期 首 商 品 棚 卸 高 商 品 仕 入 期 末 商 品 棚 卸 高	2,187,265 43,234,328 3,645,928	41,775,665
売 上 総 利 益		158,292,774
営 業 費 及 び 一 般 管 理 費		143,284,300
営 業 利 益 金 額		15,008,474
営 業 外 収 益 受 取 利 息 雑 収 入	400 2,144,642	2,145,042
営 業 外 費 用 雑 損 失	12,087	12,087
経 常 利 益 金 額		17,141,429
特 別 利 益 退 職 給 与 引 当 金 戻 入	611,650	611,650
特 別 損 失 固 定 資 産 除 却 損 前 期 損 益 修 正 損	2,348,031 692,500	3,040,531
税 引 前 当 期 純 利 益 金 額		14,712,548
法 人 税 ・ 住 民 税 及 び 事 業 税		3,536,760
当 期 純 利 益 金 額		11,175,788